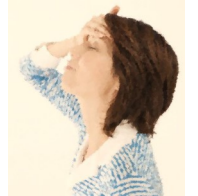


更年期障害の簡便で客観的な診断手法

名誉教授 柳原延章、元広域・発達看護学 石明寛

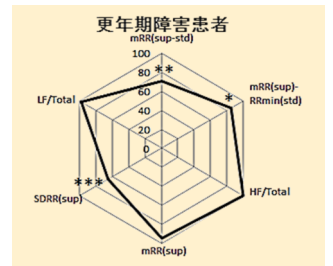
利用分野

本技術は、自律神経バランスの変動にもとづく更年期障害の補助的診断マーカーに関するものである。従来の質問票や生化学的検査と併せて用いることで、更年期障害を包括的に捉えることを可能とする。



シース

仰臥位から立位への姿勢変化にともなう心拍変動を測定し、6種類の心拍変動性指標をレーダーチャートとして表示することで（レーダーチャート式バランス評価法、後藤、1994）、更年期障害者特有の自律神経バランスの乱れの有無を判定する技術である。



ニーズ

従来、更年期障害の診断にあたっては、患者の愁訴に基づく更年期障害重症度（SMI）や血中性ホルモンの測定による生化学的検査が用いられてきた。しかし、SMIでは客観性に欠け、生化学的検査は医療機関で実施され迅速・簡便に測定することができない。日常の健康管理においては、薬局や自宅において、非医療従事者でも簡便に測定する技術が必要とされている。

連携分野

ウェアラブル機器に組み込むことで、更年期障害に限らず健康サービスの展開が可能となるため、産学連携で横展開を図りたい。SilmeTM（東芝製）を用いた自動測定ソフトを開発中である。



知財保護

特許第6281892号



身体の不調は、自律神経バランスの乱れとなって表れるんだ。



本学マスコットキャラクター
ラマティー



産業医科大学 産学連携・知的財産本部
〒807-8555
福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号

問い合わせ先: 研究支援課
TEL: 093 (280) 0532
FAX: 093 (691) 7518
E-mail: chizai@mbx.pub.uoeh-u.ac.jp